

科目名	基礎看護学実習 I (療養生活と看護活動の理解) Fundamental Nursing Practice I		担当教員 (研究室番号)	川島 珠実 (202) 他		教員への連絡方法 (メールアドレス)	川島:tamami.kawashima@mcn.ac.jp					
履修年次	1年次 後期	科目 区分	専門科目・実践基盤看護学		選択 区分	必修	単位数 (時間)	1(30)	授業 形態	実習	科目等 履修生	否
											オープンクラス	否
科目 目的	入院患者とのコミュニケーションや看護師との関わりを通して、療養生活や看護活動の実際を知り、看護の役割について考える。											
ディプロマ・ ポリシー (DP)	主要なDP	E 看護専門職者としての役割を認識し、看護の実践に活用するための専門的知識を身につけている。(知識・理解)										
	関連する DP	A 人々の生命と人間としての尊厳及び権利を尊重し、共感的に関わる姿勢を身につけている。(姿勢・態度) I 自己の課題に対して研鑽する態度を身につけている。(姿勢・態度)										
到達 目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 病院・病棟・病室内の環境やシステムが、療養生活の安全・安楽・自立に向けて、どのように整えられているのか述べることができる。 2. 療養生活の具体的な行動や患者が受けている看護援助について述べるができる。 3. 看護援助の実際と看護師および他の職種との連携について述べるができる。 4. 健康障害に対する患者の気持ちや、患者の基本的欲求の状態について述べるができる。 5. 看護師としてのコミュニケーションにおける自己課題を見出すことができる。 6. 看護師の役割について、自分の考えを述べるができる。 7. 看護学生として積極的に実習に取り組み、場面に応じた態度や行動をとることができる。 											
成績評価方法 (基準)	実習評価表に基づき、実習の状況・実習記録などから総合的に評価する。											
再試験の有無と 基準等	「実習の出欠席および追実習に関する取扱要領」の第4条に記載されている理由による1/4以上を超える欠席の場合に、追実習を認めることがある。再実習は行わない。											
教科書	看護学原論、基礎看護方法Ⅰ、Ⅱで使用したテキスト、参考書、配付資料、視聴覚教材など。											
参考書等	必要に応じて紹介する。											
学生の主体性を伸ばすための教育方法と 学生への期待	患者さんや看護師、各専門職の方々との出会いを大切に、療養生活および看護の実際について学んで下さい。 本科目は、基礎看護方法Ⅱと同時に開講します。学内で学んだ基礎的な看護の知識や事前学習を土台として、臨地実習で確認したり、実践したりして学習を深めましょう。このように実習で経験したことを、さらに学内での学習で裏付けて、患者さんの療養生活や看護をより深く理解しましょう。 実習中は、同じグループの学生間でチームとして協力し合い、相互に学びを深めてください。											
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・履修条件：看護学原論・基礎看護方法Ⅰの単位を修得していること。 ・10月13日(火)に学内オリエンテーションを行う。 											
学 習 内 容												
<ol style="list-style-type: none"> 1. 実習期間・実習場所 *履修者を2クラスに分けた上で、グループごとに2施設に配置する。 <実習期間> 10月20日(火)から12月15日(火)のうち4日間 <実習場所> 三重大学医学部附属病院、鈴鹿中央総合病院 2. 内容・方法 <ol style="list-style-type: none"> 1) 実習1回目：病院・病棟オリエンテーション/療養環境を知る。 ・臨床指導者の説明や病院環境の観察を通して、患者の療養環境がどのように整えられているのか学ぶ。 2) 実習2回目：療養生活(1日の生活のリズム)を知る。 ・患者とのコミュニケーションや行われている看護の見学を通して学ぶ。 3) 実習3回目：看護師の役割と責任を理解する。 ・看護師と共に行動しながら、看護援助の実際や多職種との連携場面を見学して学ぶ。 4) 実習4回目：療養生活(人間の基本的欲求・気持ち)を知る。 ・患者とのコミュニケーションや行われている看護の見学を通して学ぶ。 5) 毎日のカンファレンスを通して、実習での体験や学びを共有することにより、看護師の役割について自分の考えを整理する。 6) 実習最終日には学習発表会を行う。 												
学 習 課 題												
<ol style="list-style-type: none"> 1. 事前学習：実習1回目～4回目それぞれに、テーマに沿った学習を行い、記録用紙にまとめる。 2. 事後学習：1)実習1回目～4回目それぞれに、指定されたテーマについての課題を行う。 2)最終レポートをまとめる。 <p>*詳細は「基礎看護学実習Ⅰ実習要項」を参照のこと</p>												
実務経験を活かした教育の取組												
・看護職として実務経験がある教員が実習グループを担当し、指導を行う。また、実習施設では実務指導者からも指導を受ける。												